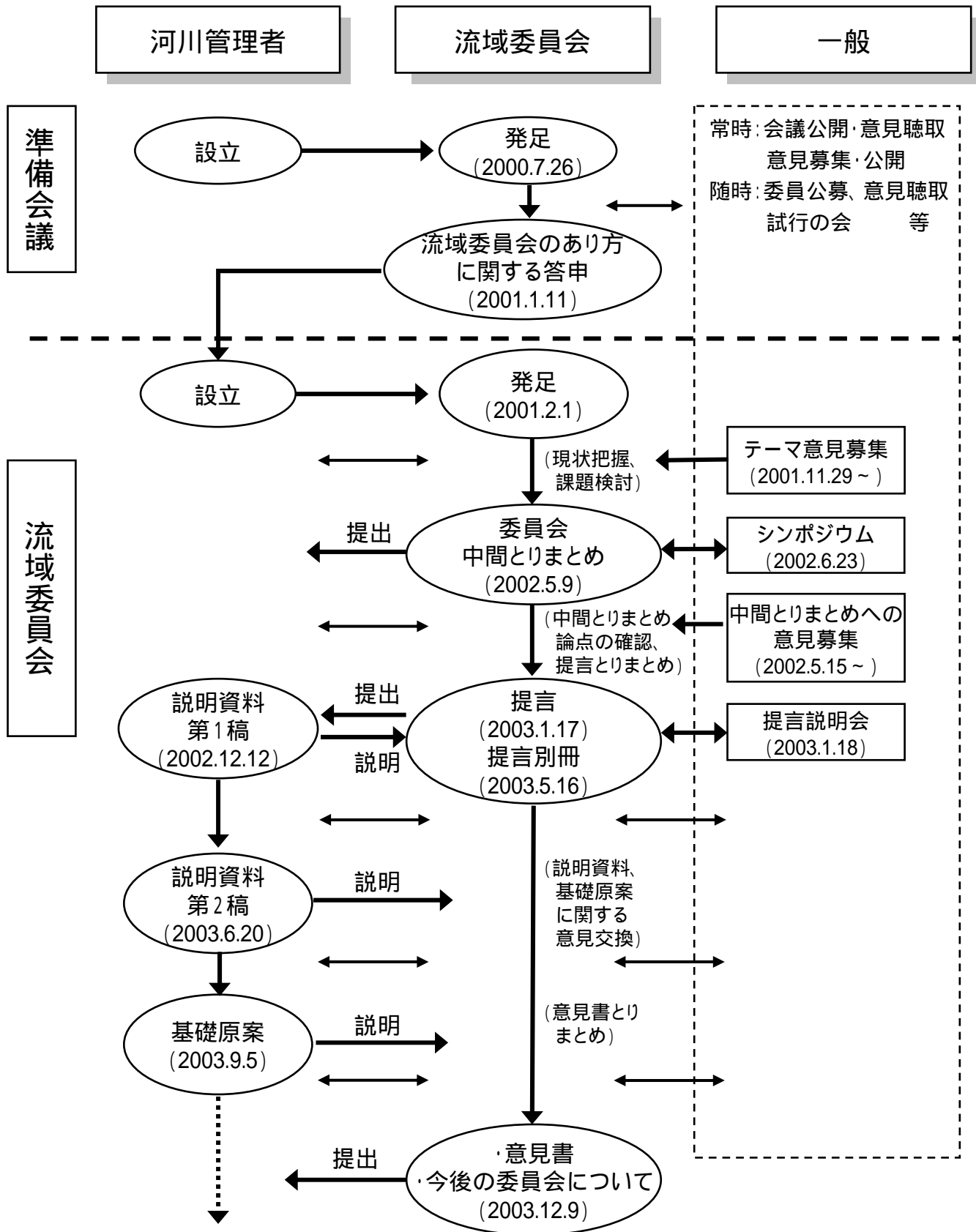


参考資料

- 1 淀川水系流域委員会の経緯
- 2 これまでの開催会議等一覧
- 3 一般とのやりとりについて
- 4 淀川水系流域委員会について
 - ・設置の目的、役割
 - ・委員名簿

1 淀川水系流域委員会の経緯(河川管理者および一般とのやりとりを中心に)



2 これまでの開催会議等の一覧（2001. 2. 1～2003. 12. 9）

会議の種類		内容	開催数
委員会、部会		・各種審議、報告、説明が行われる公的な位置づけの会議。定足数、一般傍聴有り。	115 (拡大委員会含む) (部会の位置づけで開催した現地視察8は除く)
運営会議		・委員長、部会長による流域委員会運営事項検討のための会議	30
現地視察		・流域の河川、堰・ダム（予定地含む）等を視察し、河川管理者や委員からの説明を受けた。地元の方からの説明や意見交換を行った場合もあり。	15 (部会の位置づけで開催した現地視察8を含む)
特定課題の議論、作業等	検討会	・部会の進め方、作業分担等について検討する作業準備的位置づけの会議。定足数、一般傍聴無し。	41 (合同勉強会1、意見書情報交換会1を含む)
	WG	・特定テーマについての議論を行う。提言とりまとめに向けて設けられた。定足数、一般傍聴無し。	24
	作業部会	・中間とりまとめ、提言、意見書のとりまとめ作業を行う組織として、適宜委員会、運営会議、部会に設けられた。	49 (注)
一般やりとり・発信	一般意見聴取試行の会	・一般の方々からご意見を伺うとともに、その方法についても検討する「試行」の会として、各部会を中心に、様々な方法で実施した。	14
	シンポジウム、説明会	・中間とりまとめや提言に関して一般に向けて発信、質疑応答等を行った。	2
その他		・設立会、部会発足会、合同懇談会	3
			計 293

注：今後の流域委員会検討会（2）、ゾーニング検討会（1）、対話集会に関する検討会（1）は作業部会に含めた。

3 一般とのやりとりについて（2001. 2. 1～2003. 12. 9）

	内容	数
常時 実施	・委員会、部会は全て公開し、一般意見聴取の時間を設けている。	一般発言者数 延べ約 220 人
	・ファクス、郵送、HP から届いた一般からのご意見は全て委員会、部会にて資料として配付、公表している。	意見数 約 430 件
	・委員会、部会資料はHP 等で公開、会議結果（結果報告、結果概要、議事録等）も全て公開している。	—
	・開催された委員会、部会に関するNL を作成、配布している（HP でも公開）。	—
	・HP を設け、会議開催予定、会議結果、資料、意見募集、傍聴受付等を行っている。	アクセス数 （トップページ） 約 80,000 件
随時 実施	テーマ意見募集（2001. 12. 5～） （以下のテーマについてA 4、1 枚以内で） ・河川で今何が一番問題か ・どのような川が望ましいか ・そのためには、どのように整備すべきか	提出意見数 約 240 件 （NPO 団体、自治体等含む）
	中間とりまとめに対する意見募集（2002. 5. 15～）	提出意見数 約 150 件 （NPO 団体、自治体等含む）
	中間とりまとめを発信するシンポジウム 開催日：2002. 6. 23 場 所：京都会館（京都市）	入場者数 約 500 人
	提言説明会 開催日：2003. 1. 18 場 所：カラスマプラザ 2 1（京都市）	入場者数 約 350 人
	一般意見聴取試行の会 （各種方法にて試行的に実施） ・意見募集応募者から意見発表者を選出 ・テーマを設けて意見発表者を募集 ・意見発表者間での議論 等	試行の会 14 回 意見発表者 延べ約 100 名

4 淀川水系流域委員会について

■設置の目的

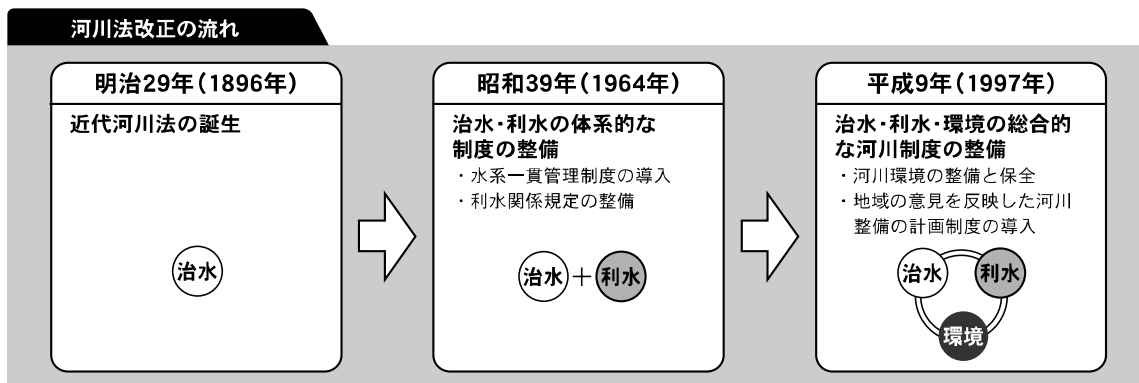
平成9年の河川法改正に伴い、これまでの「治水」「利水」に加えて「河川環境の整備と保全」が法の目的に追加されました。また、これまでの「工事实施基本計画」に代わって、長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、今後20～30年間の具体的な河川整備の内容を示す「河川整備計画」が策定されることになり、後者については、地方公共団体の長、地域住民等の意見を反映する手続きが導入されました。

「淀川水系流域委員会」（以下流域委員会）は、淀川水系において「河川整備計画」について学識経験を有する者の意見を聴く場として、平成13年2月1日に近畿地方整備局によって設置されました。

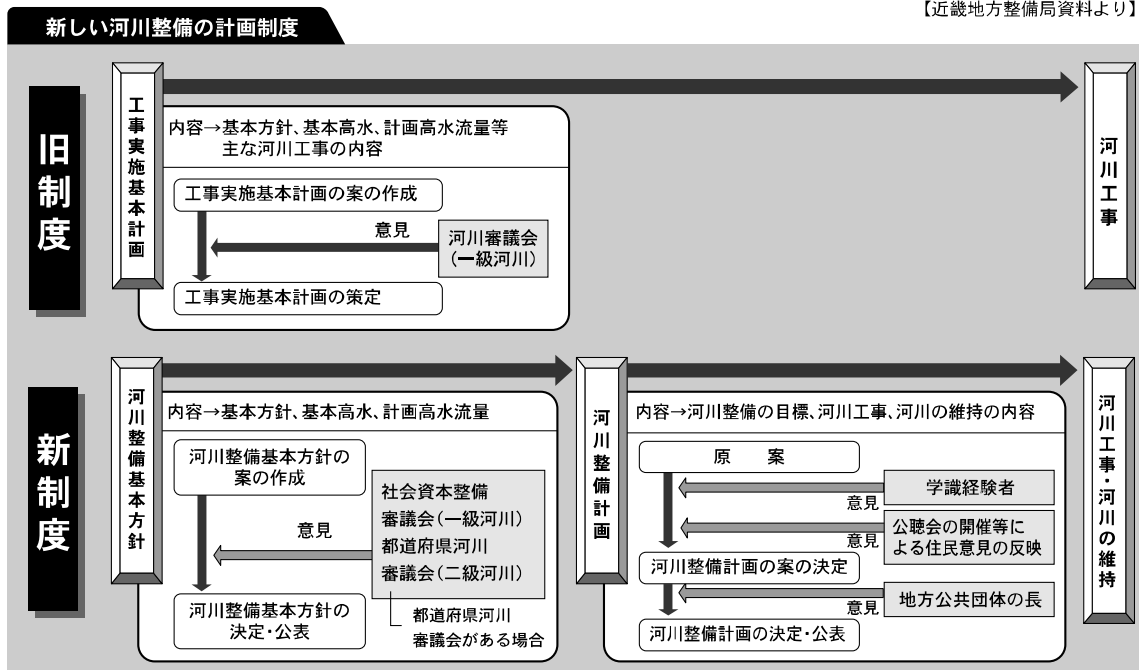
■流域委員会の役割

淀川水系流域委員会は主に次のような役割を持っています。

- ①近畿地方整備局が策定する「淀川水系河川整備計画（直轄管理区間を基本）」に対して、意見を述べる。
- ②関係住民の意見の反映方法について意見を述べる。



【近畿地方整備局資料より】



【近畿地方整備局資料より】

■淀川水系流域委員会委員名簿(2003.12.9現在)(WG専任委員を含む)(五十音順、敬称略)

No.	氏名	対象分野	所属等	所属部会
1	芦田 和男 (委員長)	河川環境一般	京都大学 名誉教授 財団法人 河川環境管理財団 研究顧問	治水部会
2	有馬 忠雄	植物	大阪府 自然環境保全指導員	淀川部会、 環境・利用部会、 住民参加部会
3	池淵 周一 (利水部会長)	水資源(水文学、水資源工学)	京都大学防災研究所 教授	猪名川部会、 治水部会、 利水部会
4	井上 良夫	地域の特性に詳しい委員(水辺の遊び)	BSCウォータースポーツセンター 校長	琵琶湖部会、 環境・利用部会
5	今本 博健 (治水部会長)	洪水防御(河川工学、水理学)	京都大学 名誉教授	淀川部会、 治水部会、 利水部会
6	江頭 進治	河道変動	立命館大学理工学部 教授	琵琶湖部会、 環境・利用部会、 治水部会
7	大手 桂二	砂防	京都府立大学 名誉教授	淀川部会、 治水部会
8	荻野 芳彦	農業関係(農業水利)	大阪府立大学大学院農学生命科学研究科 教授	淀川部会、 利水部会、 住民参加部会
9	嘉田 由紀子	地域・まちづくり(環境社会学、文化人類学、住民参加論)	京都精華大学 教授 滋賀県立琵琶湖博物館 研究顧問	琵琶湖部会、 住民参加部会
10	川上 聡	地域の特性に詳しい委員(水環境保全ネットワーク・市民活動)	木津川源流研究所 所長 三重大学人文学部 非常勤講師	淀川部会、 環境・利用部会、 利水部会、 住民参加部会
11	川那部 浩哉 (琵琶湖部会長)	生態系	京都大学 名誉教授 滋賀県立琵琶湖博物館 館長	琵琶湖部会、 治水部会
12	川端 善一郎	生態系	京都大学生態学研究センター 教授	琵琶湖部会、 環境・利用部会
13	紀平 肇	動物	中間法人 水生生物保全研究会 理事	淀川部会、 環境・利用部会
14	倉田 亨	農林漁業	近畿大学 名誉教授 京都府内水面漁場管理委員会 会長	琵琶湖部会、 環境・利用部会
15	小竹 武	地域の特性に詳しい委員	大阪市立十三中学校 校医、小竹医院 院長、淀川ネイチャークラブ 会長	淀川部会、 住民参加部会
16	小林 圭介	植物(植物社会学)	滋賀県立大学 名誉教授 永源寺町教育委員会 教育長	琵琶湖部会、 環境・利用部会
17	宗宮 功 (環境・利用部会長)	水質(水質工学)	京都大学 名誉教授 龍谷大学 教授	琵琶湖部会、 環境・利用部会
18	田中 真澄	地域の特性に詳しい委員(自然哲学)	岩屋山志明院 住職 鴨川の自然をはぐくむ会 代表 市民投票の会 共同代表	淀川部会、 環境・利用部会、 住民参加部会
19	田中 哲夫	漁業関係(魚類生態学)	兵庫県立姫路工業大学自然・環境科学研究科 助教授	猪名川部会、 環境・利用部会
20	谷田 一三	動物(河川生態学、昆虫分類系統学)	大阪府立大学総合科学部 教授	淀川部会、 環境・利用部会
21	田村 悦一	法律(行政法)	京都橘女子大学文化政策学部 教授	淀川部会、 住民参加部会
22	塚本 明正	地域の特性に詳しい委員(幅広い分野の人のネットとコーディネイト)	川とまちのフォーラム・京都 世話役	淀川部会、 住民参加部会

No.	氏名	対象分野	所属等	所属部会
23	寺川 庄蔵	地域の特性に詳しい委員(自然・環境問題全般)	びわ湖自然環境ネットワーク 代表	琵琶湖部会、 環境・利用部会、 利水部会
24	寺田 武彦 (委員長代理) (淀川部会長)	法律	弁護士 日弁連公害対策・環境保全委員会元委員長	淀川部会、 利水部会、 住民参加部会
25	寺西 俊一	経済(環境経済学、環境政策論)	一橋大学大学院経済学研究科 教授	環境・利用部会
26	中村 正久	水環境(環境政策、環境システム工学)	滋賀県琵琶湖研究所 所長	琵琶湖部会、 環境・利用部会
27	西野 麻知子	動物(陸水動物学)	滋賀県琵琶湖研究所 総括研究員	琵琶湖部会、 環境・利用部会、 治水部会
28	仁連 孝昭	経済	滋賀県立大学環境科学部 教授	琵琶湖部会、 利水部会
29	畑 武志	農業関係	神戸大学農学部 教授	猪名川部会、 住民参加部会
30	服部 保	植物(植物生態学)	兵庫県立姫路工業大学 自然・環境科学研究科 教授	猪名川部会、 環境・利用部会
31	原田 泰志	漁業関係	三重大学生物資源学部 助教授	淀川部会、 環境・利用部会
32	尾藤 正二郎	マスコミ	神戸親和女子大学文学部 教授	治水部会
33	畚野 剛	地域の特性に詳しい委員	川西自然教室 代表	猪名川部会、 治水部会
34	藤井 絢子	地域の特性に詳しい委員	滋賀県環境生活協同組合 理事長	琵琶湖部会、 住民参加部会
35	細川 ゆう子	地域の特性に詳しい委員(住民運動)	猪名川の自然と文化を守る会	猪名川部会、 環境・利用部会、 利水部会
36	本多 孝	地域の特性に詳しい委員(環境教育、人と自然のかかわり)	みのお山自然の会 会長	猪名川部会、 住民参加部会
37	楨村 久子	地域・まちづくり(地域計画・景観文化論)	京都女子大学現代社会学部 教授 (社)なら女性フォーラム 副理事長	淀川部会、 環境・利用部会、 利水部会
38	榎屋 正	地域の特性に詳しい委員	地球環境関西フォーラム 事務総長	淀川部会、 環境・利用部会、 治水部会、 利水部会
39	松岡 正富	地域の特性に詳しい委員	滋賀県漁業青年部 理事、 朝日漁業協同組合 監事	琵琶湖部会、 環境・利用部会
40	松本 馨	地域の特性に詳しい委員(地域自然保護活動、淡水生物調査、環境(自然保護)教育)	池田・人と自然の会 代表	猪名川部会、 住民参加部会
41	水山 高久	治山・砂防	京都大学大学院農学研究科 教授	琵琶湖部会、 治水部会
42	三田村 緒佐武 (住民参加部会長)	環境教育(水環境教育、生物地球化学)	滋賀県立大学環境科学部 教授	琵琶湖部会、 環境・利用部会、 住民参加部会
43	村上 悟	地域の特性に詳しい委員(鳥類生態、ラムサール条約)	琵琶湖ラムサール研究会 代表	琵琶湖部会、 利水部会、 住民参加部会
44	森下 郁子	動物	大阪産業大学 人間環境学部 教授	猪名川部会、 治水部会
45	矢野 洋	水質	神戸市水道局水質試験所 所長	猪名川部会、 環境・利用部会

No.	氏名	対象分野	所属等	所属部会
46	山村 恒年	法律(行政法・環境法)	弁護士・元神戸大学教授	環境・利用部会、 住民参加部会
47	山本 範子	地域の特性に詳しい委員	流域住民	淀川部会、 環境・利用部会、 治水部会
48	吉田 正人	自然保護(自然保護、生態学)	財団法人 日本自然保護協会 常務理事	環境・利用部会
49	米山 俊直 (猪名川部会長)	水文化	京都大学 名誉教授 大手前大学 学長	猪名川部会、 住民参加部会
50	鷺谷 いづみ	植物(植物生態学、保全生態学)	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授	環境・利用部会
51	和田 英太郎	水質(同位体生態学)	総合地球環境学研究所 教授	淀川部会、 環境・利用部会
52	渡辺 賢二	水環境	上桂川漁業協同組合 元事務局長	淀川部会、 環境・利用部会
53	小尻 利治	水資源(水文・水資源)	京都大学 教授	水需要管理WG専任委員

注1:平成15年6月24日現在の情報を元に作成したものです。

注2:対象分野欄の()は委員の専門を示しています。

注3:平成14年5月15日付けで委員1名就任、平成14年7月30日付けでWG専任委員1名就任、平成15年2月1日付けで委員3名退任されています。

注4:平成15年2月1日付けで全ての部会専任委員が委員会委員に追加されています。

注5:平成15年3月27日付けで委員2名就任、1名退任されています。